

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市中央林間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター中央林間会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
中央林間	112	1,258	112	229	1,711	5.6	306

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4	児童館の紹介(利用登録カードなど)	4/7	(145枚配布)
	新一年生歓迎期間	4/5～4/30	
	入学・進級お祝工作(定規・キーホルダーづくり)	4/6～4/30	35人
5	プレゼント工作(アロマフラワーBOXづくり)	5/5～5/31	36人
6	プレゼント工作(ペットボトルキャップでケーキづくり)	6/7～6/19	31人
6・7	七夕飾りづくり	6/21～7/7	多数
7・8	夏の工作(うちわづくり)	7/21～8/26	51人
7～10	自由工作(オリジナルマグネットづくり)	7/21～10/31	多数
8	消防訓練	8/9	9人(うち職員2人)
9	敬老プレゼント工作(ミニ色紙づくり)	9/7～9/30	24人
10	ハロウィン工作(ミニ色紙づくり)	10/1～10/30	24人
11	秋の工作(タイルでオリジナルコースターづくり)	11/18～11/30	37人
12～3	自由工作(しおりづくり)	12/1～3/31	多数
12	クリスマス工作(フェルトでクリスマスツリーづくり)	12/6～12/25	30人
	クリスマス企画(お菓子のプレゼント)	12/23～12/25	24人
1	冬の工作(熊手づくり)	1/10～1/31	23人
2	豆まき企画(豆とお菓子のプレゼント)	2/2～2/4	20人
	バレンタイン企画(キャンディレイづくり)	2/7～2/14	12人
2・3	ひなまつり工作(ひなまつりプレスレットづくり)	2/18～3/23	37人
3	お楽しみ企画(おもちゃ千本釣り大会)	3/24	30人

※コロナ禍の影響により、卓球大会、コミセンまつり(子どもコーナー)、書初め会、お汁粉会、お楽しみ会は中止。

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,845,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,561,016
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	274,975
収入計(①)	2,845,000	支出計(②)	2,835,991

収支決算	9,009
------	-------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和4年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ禍中の運営について、感染防止対策の徹底が継続されており、昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果(前年度対比約250%増)になったことについて、高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、利用者の関心や興味を引く内容を工作に取り入れており、創作意欲を向上させるよう努めるとともに感染防止対策として児童が一人で作成することができる程度とし、材料を小分けにするなどの取り組みを実施した点を高く評価します。 ・引き続き、子どもたちに人気で魅力的な本を増やして、利用者が児童館に継続して通える取り組みをしている点を評価します。 ・子どもたちに人気の卓球については、時間制限を設けるとともに、消毒の徹底など、コロナ禍の中でもできる限り児童の要望に応える取り組みを評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。